

2013年9月 キューバ情勢

I 概況

1 内政

- (1) フィデル・カストロ前国家評議会議長の論考が当地紙グランマ等に掲載された。
- (2) マリエル開発特区に関する政令が承認された。
- (3) 閣僚評議会が開催され、スポーツ選手等の待遇・報酬に関する措置等が承認された。
- (4) 第8回革命防衛委員会（CDR）大会が開催された。

2 外交

- (1) 当地紙グランマ等に、シリア情勢に関するキューバ外務省声明が掲載された。
- (2) アシル・ナイジェリア外務大臣がキューバを訪問し、ロドリゲス外務大臣と会談した。
- (3) 当国外務省ホームページに、シリア情勢に関するラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）声明が掲載された。
- (4) ミード・メキシコ外務大臣がキューバを公式訪問し、ロドリゲス外務大臣及びラウル・カストロ前国家評議会議長（以下、議長）と会談した。
- (5) コレア・エクアドル大統領がキューバを実務訪問し、フィデル・カストロ前国家評議会議長及びラウル・カストロ議長と会談した。
- (6) ロドリゲス外務大臣は国連総会に出席し、各国要人と会談を行い、また、核軍縮に関する国連総会ハイレベル会合にて、CELAC議長国として演説を行った。
- (7) タウル・マタン・ルアク東ティモール大統領がキューバを公式訪問し、ラウル・カストロ議長と会談した。
- (8) 天野 IAEA 事務局長がキューバを公式訪問し、ラウル・カストロ議長等と会談した。

II 内政

1 フィデル・カストロ前国家評議会議長の論考の掲載

14日付当地グランマ紙等に、「忘れられない思い出」（Recuerdos imborrables）というタイトルのフィデル・カストロ前国家評議会議長の論考が掲載された。その内容は、主に1973年9月のベトナム訪問の思い出を綴ったものであるが、対シリア軍事攻撃を回避するためのロシアのイニシアティブを賞賛する記述等も含まれている。

2 マリエル開発特区に関する政令の承認

20日付当地紙グランマにて、19日に開催された閣僚評議会においてマリエル開発特区に関する政令が承認されたと報じられた。同政令は本年11月1日に施行される予定。

3 閣僚評議会の開催

24日付当地紙グランマにて、21日に開催された閣僚評議会の概要について報じられた。同評議会ではなされた説明、決定等は以下のとおり。

(1) 国家医薬プログラムの一部修正案及び自然療法・伝統医学の発展プログラムの現代化が提示され、これに対し、ラウル・カストロ議長は、このプログラムを具体化するため、全ての県から意見を募り、詳細な計画を作成するよう指示した。

(2) 高齢者介護の問題について説明がなされ、また、現在高齢者施設が抱える問題への対応策が説明された。

(3) 新たに73の非農業分野の協同組合創設が承認された。

(4) 2012年9月の人口調査の最終結果が公表され、高齢化の進展が確認された。

(5) 建設省の再編計画等について説明された。

(6) 宿泊施設等観光に関する新たな政策について説明された。

(7) 2013年6月末時点における会計収支報告が行われた。

(8) スポーツ選手等の待遇・報酬に関する政策が承認された。

(9) ハバナ歴史事務所の現代化に関する政策が承認された。

4 スポーツ選手等に対する待遇・報酬に関する新たな措置の実施

27日付当地紙グランマ他は、21日に開催された閣僚評議会で承認されたスポーツ選手等に対する待遇・報酬に関する政策の詳細について報じており、それによれば、トップアスリートは、いくつかの条件を満たせば、国外のチームと契約できる可能性が与えられる。

5 第8回革命防衛委員会（CDR）大会の開催

26日～28日、フィデル・カストロ前国家評議会議長が革命の防衛等を目的として1960年9月に創設した、キューバ最大の大衆組織であるCDRの第8回大会がハバナで開催された。キューバ全土から460名の代表者が出席し、また、亜、西、伯、智、南ア、越等海外の大衆組織からも40名程の招待者が出席した。今次大会では、組織の活性化、若者のより積極的なCDRへの関与、社会の不規律と違法行為に対する闘いが主な議題となった。ラウル・カストロ国家評議会議長も出席した28日の閉会式において、マチャド・ベントウーラ共産党第二書記（兼国家評議会副議長）は、CDRが社会の不規律との闘いを強化するよう訴えた。なお、今次大会では、カルロス・ラファエル・ミランダ CDR 全国コーディネーターの再任等、CDRの幹部人事も決定された。

III 外交

1 シリア情勢に関する外務省声明の発出

2日、当地紙グランマ他に、国際社会に対し、米国等によるシリア攻撃阻止に向けて行動を起こすことを求めるキューバ外務省声明が掲載された。

2 オルベンガ・アシル・ナイジェリア外務大臣のキューバ訪問

2日、ロドリゲス外務大臣は、アシル・ナイジェリア外相と会談し、二国間関係は良好であると評価した上で、先般のAU首脳会議において、ナイジェリア及び他のアフリカ諸国が米国の対キューバ封鎖措置を満場一致で拒否する立場をとったことに謝意を表明した。

3 レー・ホン・アイン・ベトナム共産党政治局員のキューバ訪問

キューバを公式訪問したレー・ホン・アイン・ベトナム共産党政治局員は、4日～7日にかけて、エステバン・ラソ・エルナンデス党政治局員・人民権力全国議会議長、マチャド・ベントウーラ党中央委員会第二書記・国家評議会副議長、ラウル・カストロ革命軍将軍・党中央委員会第一書記と会談した。

4 ロドリゲス外務大臣のグレナダ訪問

6日、ロドリゲス外相は、カリコム・キューバ外相会議に出席するためにグレナダを訪問した。

5 シリア情勢に関するラテンアメリカ・カリブ諸国共同体 (CELAC) 声明の発出

9日、当国外務省ホームページに、化学兵器の使用への反対を表明し国連のプロセスを通じてシリアの化学兵器の問題が処理されることを求める、CELAC 声明が掲載された。

6 キューバ政府の北朝鮮制裁委員会への協力表明

11日、国連の北朝鮮制裁委員会の議長を務めるルクセンブルグの Sylvie Lucas 国連大使は、「キューバは北朝鮮制裁委員会に協力する意向を示した。」と述べ、パナマにて拿捕された北朝鮮籍船の調査に関し、キューバが協力を約束したと報じられた。

7 ミード墨外務大臣のキューバ訪問

11日～13日、ミード墨外務大臣は当国を公式訪問し、ロドリゲス外務大臣及びラウル・カストロ閣僚評議会議長と会談した。ラウル議長との会談では、両国間の良好な関係が確認され、キューバが議長国を務める CELAC 及び墨が議長国を務めるカリブ諸国連合の実績を含む、両国間及び地域における関心事項が話し合われた。

8 アブドゥラ・インド新・再生可能エネルギー大臣のキューバ訪問

15日～18日、アブドゥラ・インド新・再生可能エネルギー大臣が当国を公式訪問し、エネルギー関連の視察などを行った。

9 二国間郵便サービス再開に関する米国との協議

16日、ハバナにて、郵便サービスに関する米国との協議が開催された。同協議において、双方は、7月にワシントンで開催された協議で扱われたテーマのフォローアップを行った。

10 キューバ・ベトナム政府間委員会第31回会合の開催

17日、ハノイにてキューバ・ベトナム政府間委員会第31回会合が開催された。キューバ側からはマルミエルカ外国貿易・外国投資大臣が出席し、ベトナム側からは、ベトナム建設省の Trinh Dinh Dung 建設大臣が出席した。

11 コレア・エクアドル大統領のキューバ訪問

20日、コレア・エクアドル大統領が当国を実務訪問し、まずサンティアゴ・デ・クーバ市を訪問し2012年のハリケーン「サンディ」による被害へのエクアドル支援の現場を視察した後、ハバナにてモラレス保健大臣、フィデル・カストロ前国家評議会議長及びラウル・カストロ国家評議会議長と会談した。

12 エクアドルによるキューバ人医師受け入れ計画の発表

21日、キューバからの帰国後すぐに、コレア大統領は、1,000名のキューバ人家庭医を年間3,000万ドルで受け入れる計画を発表した。

13 キューバ・中国政府間協力委員会第26回会合の開催

24日、キューバ・中国政府間協力委員会第26回会合が北京にて開催され、マルミエルカ・キューバ外国貿易・外国投資大臣と高虎城(Gao Hucheng)中国商務部長は、今後5年間の両国間の経済アジェンダに署名した。

14 マリエル開発特区に関するセミナーの開催

マルミエルカ大臣は、25日、北京市内のホテルで開催されたマリエル開発特区に関するセミナーにおいて、マリエル開発特区の特徴、法的条件、投資対象となりうる部門等の情報を提供するプレゼンを行い、何百もの中国企業関係者が参加した。

15 ラテンアメリカ・カリブ共同体(CELAC)首脳会談へのパラグアイの招待(往電第873号)

25日、ロドリゲス・キューバ外相はニューヨークにてロイサガ・パラグアイ外相と会談を行った。同会談終了後、ロイサガ外相は来年1月にハバナにて開催される CELAC 首脳会議に、キューバがパラグアイを招待したと発表した。

16 核軍縮に関する国連総会ハイレベル会合におけるロドリゲス外務大臣の演説

26日、NYの国連本部で開催された核軍縮に関する国連総会ハイレベル会合にて、ロドリゲス外相が CELAC 議長国として演説を行った。同演説の中で、核兵器に対する懸念を表明し、核廃絶、核兵器の改良・核実験の禁止等を求めるとともに、平和的目的のための原子力の利用の権利について確認した。

17 タウル・マタン・ルアク東ティモール大統領のキューバ訪問

26日から30日、タウル・マタン・ルアク東ティモール大統領は当国を公式訪問し、27日、ラウル・カストロ国家評議会議長と会談した。

18 天野 IAEA 事務局長のキューバ訪問

9月29日から10月1日、天野 IAEA 事務局長が当国を公式訪問し、メディーナ外務大臣臨時代理、ラウル・カストロ国家評議会議長等と会談した。また、ハバナ大学にて、IAEA の活動と癌対策プログラムに関する講演を行った。

19 ロドリゲス外務大臣とザリーフ・イラン外務大臣との会談

30日、ロドリゲス外相はニューヨークにてザリーフ・イラン外相と会談を行った。

20 カンガ・アンゴラ農業大臣のキューバ訪問

30日、大統領特使として当国を訪問したカンガ・アンゴラ農業大臣は、ラウル・カストロ国家評議会議長にドス・サントス・アンゴラ大統領の親書を手交した。

21 要人来訪

- (1) オルベンガ・アシル・ナイジェリア外務大臣（1日～2日）
- (2) レー・ホン・アイン・ベトナム共産党政治局員（3日～7日）
- (3) ミード・メキシコ外務大臣（11日～13日）
- (4) アブドゥラ・インド新・再生可能エネルギー大臣（15日～18日）
- (5) コレア・エクアドル大統領（20日）
- (6) タウル・マタン・ルアク東ティモール大統領（26日～30日）
- (7) 天野 IAEA 事務局長（29日～10月1日）
- (8) カンガ・アンゴラ農業大臣（30日～10月1日）

22 要人往訪

- (1) ロドリゲス外務大臣のグレナダ訪問（6日）
- (2) マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣のベトナム訪問
- (3) マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣の中国訪問
- (4) ロドリゲス外務大臣の国連総会への出席（NY）